

【R4年度】二宮・大磯 空き家クリエイティブ・マッチング・コミュニティ(以下CMC) 事業 (二宮町・一色小学校区元気なコミュニティ協議会)

別添資料4

■ 事業概要

事業部門	部門3ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取り組みを行う事業
事業地域	神奈川県中郡大磯町及び二宮町
背景・課題	空き家は存在しているがコロナ禍やリモートワークの進展で移住者が増えるにつれて市場に出る不動産物件は常に供給不足となり、一過的・一時的なお試し移住の取り組みには限界が見えてきた。
目的	移住してやりたい夢(事業プラン等)を持つ人たちを空き家に誘致して地域の活性化を図るため、お試し移住参加者と地域のキーパーソンや先輩移住者とのマッチングの場やコミュニティを形成する。
連携する団体・役割	神奈川県公社(宿泊住宅の提供)一般社団法人海鈴大磯及び株式会社Co・lab(交流会等の設営)

■ 取り組み内容と成果

1 事業の取組詳細(以下、右図1のフローの事業内容に沿って記述)

(1) 空き家CMC事業の企画調整

- ・R3年度までのお試し移住事業(継続事業)に加えて「空き家CMC事業」(新規事業)を行った。
- ・お試し移住参加者の選択肢を広げるため、令和4年度から二宮町と大磯町の両町で行った。

(2) 募集・登録サイトの再構築

- ・募集要領に移住してやりたい夢(事業プラン等)を150字で書いてもらった。このため応募者は減ったが、この2町に真剣に移住を考える人たちが集まった。
- ・応募状況は、二宮町:募集枠6組に対して8組応募、大磯町:募集枠3組に対して4組応募。

(3) お試し移住事業の実施(継続事業:図2の左半分)

- ・10月から1月まで、ガイダンス、物件案内・町案内、交流会の開催を2泊3日のメニューで実施した。

(4) 夢の提案&マッチング懇親会(新規事業:図2の右半分)

- ・夢の提案&マッチング懇親会を1月14日(二宮町)、1月22日(大磯町)の2回開催した。(写真1、2)
- ・二宮町は参加者4組(内1組zoom参加)、大磯町は参加者3組。キーパーソン等は合計10人参加。

(5) お試し移住のガイドライン作成

- ・令和3年度に作成した原案をもとに本年度の新規事業の成果を踏まえて修正・完成させた。

2 成果物

(1) 募集サイトの再構築(<https://ninomiya-workation.com/>)

(2) お試し移住事業のガイドライン作成

3 評価と課題及び今後の展開

- ・マッチング懇親会の開催により参加者と地域のキーパーソン等が熱心な議論を行うことができ、移住支援・空き家探し・事業支援のコミュニティの輪が広がった。(実際にも事業期間中に1組移住済み)
- ・マッチング懇親会によるコミュニティ形成と夢の提案を持つ人たちを空き家に誘致して地域の活性化を図るため、次なる新規の取り組みが必要である。その可能性としては、すでにこの2町で行われている地域活性化のためのイベント等と空き家CMC事業を連携して行う方向である。

図1: 令和4年度の事業フロー

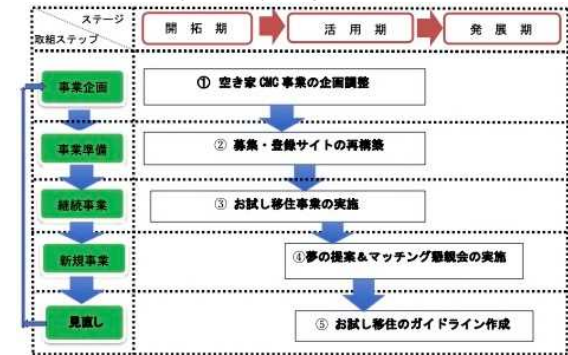


図2: 空き家CMC事業のスキーム



写真: 夢の提案&マッチング懇親会の風景(二宮・大磯)

